



岩松小学校だより



学校だより 第8号

令和8年5月22日発行

発行者 校長 真子靖弘

みんな違って、みんな幸せになる権利がある

「違いがあるのは当たり前。大切なのは、その違いを受け入れ、困っているときに力を貸し合うこと。――

5/12(火)、**福田先生**による**人権教室**を開催しました。人権とは、誰もが持っている「幸せになるための権利」です。講話では、自分や周りの友だちの大切さについて考え、もし辛いことや守られていないと感じることがあれば、迷わず先生たちに相談してほしいと呼びかけました。



自分を大切に、そして周りの人も同じように大切にできる心を育てるために、今後も毎月、全教員がそれぞれの視点からテーマを設け、継続的に人権教室を開催していきます。



自分で学びの舵取りを！

5/18日(月)～22日(金)、「**家学がんばろう週間**」を実施しました。新学期が始まって1ヶ月半。お子様は今、何の教科に最も「楽しさ」や興味を感じているでしょうか。逆に、少し苦手意識を持っている教科はありますか。

子どもたちを「**自律した学習者**」へと育てるために、ご家庭ではぜひ「**質問ベース**」での**対応**を試してみてください。例えば、「じゃあ、どうすればもっと伸ばせると思う?」「これから、どうしたいの?」「何か手伝えることある?」といった**問いかけ**です。大人が安易に正解(らしきもの)を教えないことが、自分で考える力を育むためにとても大切です。子どもたちが自分で自分の学びの舵取りをしていけるよう、私たちも良き「**伴走者**」として支援していきます。

この期間中、昼休みに主体的に相談室を訪れ、熱心に質問する子どもの姿も見られました。自ら進んで知ろうとする子どもたちの姿に、本来「学ぶ」ことは楽しいことという基本を再認識しました。今後とも、ご家庭と学校がしっかりと協力しながら、共に子どもを育てる「**共育**」を進めていきましょう。

挨拶・片付け・協力で大絶賛された宿泊学習

他校の先生から絶賛された挨拶、そして指導員さんが「他校に抜きん出て素早く、美しい」と驚いた野外炊飯の片付け。――5/14(木)・15(金)の2日間、**5年生**が北山少年自然の家での**宿泊学習**に臨みました。

北山湖でのフィールドワークやカレー作りなど、プログラムの多くがグループ活動でした。時には意見がぶつかる場面もありましたが、子どもたちは対話を重ねて見事に乗り越え、協働する大切さを学びました。これこそが、子どもたちを大きく成長させる貴重な経験です。野外炊飯では、経験のある子が他グループの薪組みを率先して手伝う主体的な姿も見られました。また「夕べの集い」では、振り付けを交えた「岩松っ子七つの誓い」や小城の魅力紹介を全力で披露し、他校の児童を圧倒。岩松っ子としての誇りと自立心が随所に光った、**最高に格好いい2日間**となりました。(ちなみに、子どもたちが羽目を外しそうになる絶妙なタイミングを見逃さず、担任の山崎先生からの熱い指導が随所で**バシッ**と入っていたことも、大成功の大きな隠し味です(笑))



外部人材の力を活かした豊かな教育活動

子どもたちの視野を広げ、豊かな学びを創るために、外部の様々な力をお借りしています。**ピーターパン**さんによる全校読み聞かせ、**3年生**の玉ねぎ収穫、**4年生**の清掃工場見学、**6年生**の思春期教室や史跡探訪、牛津高校生によるミシン指導など、多様な関わりの中で子どもたちの心が育まれています。

さらに、6/14日(日)の学校フリー参観日には、KDDIの講師による「**スマホ教室**」を実施します。デジタル社会を生きる子どもたちが正しく活用する力を身につけるだけでなく、大人が「どう子どもに考えさせるか」を学ぶ絶好の機会です。学校とご家庭が同じ目線で子どもたちの安心・安全を支えていけるよう、共に考える時間にしていきましょう。